

長崎 検定

一級 さん

Vol.46

長崎の「街」が先生

高村佐智子さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。

その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。

ざつくばらんに寄稿願いました。

私は、長崎に移住して3年になります。以前

は、夫と私の東京での仕事の退職を機に、神奈川県内の山間にある私の実家近くで、畑などを耕しながら、田舎暮らしを10年ほど続けていました。

車の運転に自信を失ったり、病院が遠かったりと、加齢？に伴い不安が出てきました。そこで、夫の実家のある、「さるける街」長崎にやってきました。年に一度は訪ねて来ていて、私にとって大好きな街でした。海辺なので、釣りはやろうと決めていました。

そして、「さるくガイド」というボランティアのガイドさんがいるという事を聞いていましたので、以前旅行業に従事していた事もあり、機会があればと思っていました。運よくその年の8月のガイド研修を受けることができ、現在は平和ガイドを中心に活動しています。

その時の研修仲間の方たちと、長崎の勉強を始めたのが、長崎検定を受験するきっかけとなりました。幸い1級合格者の方が、その中におられ、指導のもと去年、みんな2・3級に挑戦し、全員合格できました。1級は全く雲の上という感じでしたが、みんなに背中を押され、受験にふみき

りました。今回、合格する事が出来たのは、研修仲間の皆さんがいてくれたからです。一人では、最初から、「長崎検定を受けよう！」という気にもならなかったと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私の住まいは、丸山まで坂を下って15分程の高台です。途中に「高島秋帆旧宅」・西洋料理店「福屋」跡・現在清水崑展示館の「中の茶屋」・愛八ゆかりの「梅園身代天満宮」・そして「長崎検番」と「花月」と続いて丸山公園で、龍馬像が待っています。これだけで、長崎検定の数問が解けそうです。受験を決めてからは、街の至所にある歴史や文化を紹介する説明板を見つける度に何度も読み返し、「旅する長崎」や「長崎遊学」などの、歴史紹介のガイドブックで、足りない知識を補いました。

長崎の公民館主催の歴史講座にも参加しましたが、参加者が多く長崎人の関心の高さに驚きました。又、テレビでは、頻繁に「街歩き」の番組を放送しており、ビデオに撮って、繰り返し見えました。机に向かうのはあまり得意ではない私にとって、長崎の「街」は素晴らしい先生になって

くれました。

「ステイホーム」が続く中、私は「長崎文学」を楽しんでいます。ノンフィクション、フィクションが入り混じったそれぞれの作中の「歴史感」「人物描写」の違い、当時の人々の「生きざま」、長崎の「方言」、など興味深いです。「長崎検定」の受験で私の世界が広がりました。

「新型コロナウイルス」が終息し、長崎の街に観光客があふれ、長崎の夜景により輝きを与えてくれる「クルーズ船」の灯りが一日も早く見られる日が来る事を願っています。オランダ船の来航を待ちわびた、オランダ商館長「ヘンドリック・ドゥーフ」と長崎の人々のように！そして、今度こそ「大物を釣り上げるぞ！」と思いつながら、スーパリーの魚売り場を覗いています。



【プロフィール】

神奈川県生まれ
平成29年 長崎市に移住
平成29年 さるくガイド研修修了
現在 平和ガイドとして活動中